

# 第2回定例会

町長より行政報告がなされました。  
(内容は要約して掲載しています。)

## ・町長行政報告



### 町長行政報告 (要旨)

#### 農作物の生育状況について

今年の春は、5月中旬に季節外れの降雪や低温などの天候不順で、農作物の作付けは遅れ、生育に大きな遅れを生じている状況にあります。

現在力ポチャの定植作業が進められ、今後の天候に期待するところであります。

牧草においても、生育が心配されていますが、天候の回復とともに盛り返して来ております。コントラクター作業も始まるとの報告を受けており、収量確保も重要になると判断しています。

#### 牧野の入牧状況について

例年より4日遅い5月24日・25日で入牧を実施し、5月末現在6カ所の牧野で592頭が預託されています。今後也大いに利用していた

だきたいと思っています。

#### 農協が進めていますTMRセンターについて

昨年12月に完成し、6月6日には竣工式が執り行われ、1番牧草の受入れ、8月からの飼料供給に向けた体制になっています。

#### 漁業について

外海ホタテ稚貝放流については、天候等に恵まれ5月15日から21日までの7日間で終了し、9391万5000粒をB海区へ放流しました。

マス稚魚については、昨年から河川放流に切りかえ、トップウシベツ川、オンネットカ口チ川、床丹川の3河川から合計150万尾を放流しました。

サケ稚魚の中間育成については、200万尾を搬入し、5月25日放流することができ、4年後の回遊を期待しています。

外海ホタテ漁業は、5月28日から本操業が開始となりましたが、歩どまりが悪く、1隻当たり15トン操業でしたが、今後歩どまりの状況を見て日産25トンへ増産する予定

としており、ことしの漁獲目標は9850トンであります。

漁港整備事業については、富武土本港では北防波堤消波ブロック設置工事が始まり、西護岸の整備が実施される予定です。

若里分港も北防波堤と突堤の新設工事が始まっておりま

#### 公共事業執行状況について

平成24年度、町が計画しております事業件数は46件で、事業費の総額は5億1100万円を予定しています。

5月末の発注状況は、20件で1億8400万円であり、発注率は36%となっておりますが、早期発注に努めて参りたいと考えております。

#### 公立高校配置計画案について

6月5日に開催された北海道教育委員会において、平成25年度から27年度までの配置計画案が公表され、佐呂間高校は2間口80名の計画案が示されました。

佐呂間高校は、昨年度の配

置計画において2間口80名の定員のところ、中学校の卒業生46名中、佐呂間高校へ進学した生徒が28名となり、計画変更され1間口40名定員となっております。

今年度の中学校の卒業生は54名で、例年町内高校への進学率は約70%という状況から、2間口確保できるかは微妙な情勢であっただけにひとまず安堵しておりますが、2間口に必要な41名以上の生徒の確保に向けて更に努力して参りたいと思います。

今後の計画策定に向けてのスケジュールは、7月下旬の地域別検討協議会を経て、9月上旬には正式に決定される見込みであります。

なお、今後の中学卒業生の動向は、今年度54名をピークに42名、32名、47名という状況となることから、最後の2間口のチャンスであると考えており、今後は2間口の確保は現実的には困難で、佐呂間高校存続のためには、1間口40名以下であっても最低でも20名を確保して地域キャンパス校として存続を模索することが必要だと感じております。